

9/24 (火) クドキ×ト×サワギ

Banjumrung 滞在 12 日目 (残り 3 日)。帰国まであと 8 日。

いつものように (最初と比べると少し遅い) 8 時頃に起きました。朝から台所でガチャガチャ物音がしていたので「ああ…今日はお客さんが来るんだな…」と、半分寝たまま考えていましたが、やっぱりその通りで、おばちゃんたちがあくせく働いていました。朝食は、珍しくブンさんと一緒でした。ご飯山盛りのお皿を見て、ここの人たちはどれだけのお米を食べるんだろう…とふと気になって仕方が無かったです。

この時、パットゥーンさんがお皿に乗ってきたアリ (モツ) を取りながら「モツ モツ」と呟いていたのが妙にツボでした・。

そして食事後、何故かパットゥーンさんに呼び止められ、何かタイ語で言いながら腕を引かれて行きました。服の胸元を指していて、かつ連れて行かれた先がブンさんの奥さんのところだったので、放置された希呼共々、下着とか女性限定の話なのかなと思っていました。

奥さんのジェスチャーと片言の英語、そして S・M・L のサイズを聞かれてやっと、私たちに T シャツをくれるのだと理解しました (笑)

すったもんだの末、私がいただいたのは、スカイブルーの T シャツ (胸元に村のオープンバスが描かれている)

何だか可愛くて嬉しいです(*´▽`*)

日本に帰ってからも、部屋着や農業実習用に役立てたいと思います。

その T シャツが届くのを待っている間、ココナッツを 1 人 1 個いただき、その中の汁と白い実を食べました。が…好きか好きじゃないかで言うなら私は後者…

たくさんは食べられない味でした。残してごめんなさい。

10 時頃にコミュニティセンターに行きました。

今日は確かにお客さんが来ているのに、ショップの seller グループが誰もいない…チャーが買えない…

聞くと、団体様はラヨーン県内の専門学校生 (ホテル? ツーリズムを学んでいる) らしく、今日はレクチャーのみで買い物をしないので、ショップは明日開けるとのことでした。

ラヨーン県庁 (もしくは政府) の観光課? のボス、というブンチャイさんにもお会いしました。つまりは地域ぐるみの訪問ということで、引率者 (先生など) をたくさん連れていくところにも納得がきました。

そんな会話をしていると、その専門学校の先生と思いき人に声をかけられ、室内でのレクチャー受講を勧められました。半ば強引に招かれたそこでは、村の紹介ムービーや home stay などについてのプレゼンが行われていました。突然入ってきた日本人に興味深々の生徒たち…と、全くレクチャー内容が分からない私たちでした。

自己紹介もしましたが、「イーブン！」という言葉がこれほど飛び交ったことは無かったと思います。

レクチャーを終えてからは、センターで昼食を取るまで、ブンさんと少しお話をしました。

忙しいので明日に延期となりましたが、「日本食をふるまう会」のために、マーケットで買いたいもののリストを一緒に作ったり、home stay が番号順で宿泊客の受け入れを回していることや、ブンさん自身のことまで、知りたいこと・聞きたいことを質問しまくりました。

ちなみに、何故ブンさんが Banjumrung に戻ってきたかというと

元々はゴム加工工場で働いていましたが、仕事に飽きて、より給料が高くフリーな時間も多 (ゴム農業+フルーツもやるが、雨だとフルーツだけで朝 10 時には仕事が終わってしまうので暇!) 村で働こうと思ったのだそうです。

現在は、センター全体の収益の一部がブンさんに入るようになっており、つまりセンターが儲かればブンさんも儲かる! のどとか。

確かに自分がリーダー的立場でセンターを運営していて、それが給料に直結するなら俄然やる気が出るよなあと思ってしまいました(^^)

また、この時間帯に、国際交流課への報告メールも送りました。無事に届いていますように。

午後からは、生徒たちと一緒にバスに乗って（正確には自転車で追いかけて途中から）

集会所→ゴム加工所→お寺→人工マンングローブ林→海→漁港→詩人のモニュメント（ストゥンプゥーン？）…のツアーに行きました。

本当は、海のところで休憩しているサイクリングの人たちにインタビューする予定でしたが、何故か今日に限って1人もおらず、断念しました。

それでも、タイ語が話せない私と英語があまり話せない生徒たち、どっこいどっこい関係ながらも、指さし会話帳と気合いでおしゃべりすることができてとても楽しかったです。私に一番積極的に話しかけ、お菓子くれたり説明したりと構ってくれた生徒がいましたが…彼はずっと会話帳の「ガトゥーイ（オカマ）」を指さしていて、女の子と仲が良さげな様子。どうやらレディーボーイのよう。タマサートの人といい、この人といい、タイに来てからやたらレディーボーイに好かれるような気がします。何故？そしてやたら口説かれます。

センターに戻って、犬と戦いながら自転車を取りに行き

それから夕食までの空き時間、ジュースを飲みながらメールチェックなどをしていました。

このジュース、前もいただいたのですが、かき氷のイチゴ味のミツをダイレクトに飲んでいるような味がしました。着色料バリバリの、激甘な、何だか身体に悪そうな感じ…でもこれがまた（私にとっては）美味しくて、ついおかわりを要求してしまいました（笑）

（頼まなくてもおかわりがやってきたのですが）

と同時に、センターでは home stay グループのみなさんが大集合していました。

今日は1家庭に5人が泊まるそうで、担当になった家の皆さんが、生徒たちを引率するためにお迎えに来たのだそうです。

「こっちだよ」と言いながら（多分）、お客さんを連れて行くおばちゃんたち、何だか嬉しそうでした。

夕食は、ステージ演奏やダンスが行われる盛大なものでした。

カラオケもセッティングされていましたが、その準備中にパットゥーンさんが良い声で熱唱していて、思わずムービーを撮ってしまいました。

司会進行の下、何やら暴露大会のようなイベントが行われ（タイ語オンリーだったので全くわかりませんでした。誰かの名前が書かれた卵を1人ずつ持っていて、指名された人は卵の名前の人と前に出てきて何か語っていたような？歓声も上がっていたので告白タイムみたいなのもあったのか…）、場が盛り上がりきたところでカラオケに切り替わりました。

レディーボーイの人に「Let's dance!」と踊り狂う中に引き込まれそうになって「No problem!」「NO! NO! NO! It's problem!!!」と言い合ったり

「日本の歌を歌ってくれ。ムービーで撮りたいから」とドラえもんを歌わされたり

真顔で「中島美嘉か水樹奈々を歌ってほしい」と要求されたり

ダンス大会で昨年優勝した人を褒めたところ、飛び入りでステージに入って踊り出し、挙句帰ってきたらまた口説かれたり…もはやただのディスコ？クラブ？と化していました。

面白かったのですが、さすがに死にそうだったので途中で退散。

離れたところで座っていた先生？からも、何故かタイの子供向けソングである「ELEPHANT SONG」を熱烈に教えていただき、何だかんだで10時頃に home へ帰りました。

明日はついに日本食を作ることになりそうです。

マーケットへの買い出しがきになるところですが、残り僅かな時間を大切に過ごしたいです。